

令和4年度 かな福祉専門学校 学校自己評価の結果報告

本校が介護福祉の専門学校として望ましい教育を行い、地域のニーズに応えているかを確認するために、令和4年度の学校自己評価を実施致しました。

本自己評価については、教職員が前年度までの自己評価結果にとらわれることなく、再点検をした結果となっております。

主に以下の6点について、学校自己評価の結果を報告致します。

1 学校自己点検・自己評価 確認事項

- (1) 法令・設置基準をクリアーしているか。
- (2) 介護福祉士を養成する専門学校として求められる事項や水準を満たしているか。
- (3) 介護福祉科に対応する専門分野の業界・職種における人材要望（知識・技術・人間性等）に基づく教育を行っているか。
- (4) 介護福祉科の人材育成目標を正しく方向付けているか。
- (5) 教育の到達レベルを明示しているか。
- (6) 明示したレベルに到達させる教育機能を備えているか。

2 実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

3 実施方法

- (1) 学校に学校自己評価委員会を設置し、教職員が連携して評価活動を行う。
評価に当たっては、教職員だけでなく、学生、場合によっては保護者や学校関係者等の意見も取り入れて評価を行う。
- (2) 評価は、学校評価委員会等が作成した評価表（文部科学省学校評価ガイドライン）に基づいて行う。
- (3) 評価結果は、今後の改善策を記した総評を加え、改善できる事柄は直ちに改善する。

4 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

	評 価 項 目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
1	本校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3. 8
2	介護福祉士養成校としての特色を出しているか	3. 6
3	社会・経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を描いているか	3. 2
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者等に周知されているか	3. 0

① 課題

- ・介護を担う人材の減少という状況に対し、より魅力的な本校の将来構想を描き周知する。

- ・コロナ禍の中、学校の理念等が保護者、関係者に十分周知できなかった。

② 今後の改善方法

- ・社会、経済の現状、ニーズを把握し、本校の将来構想を確立する。
- ・ホームページの更新や SNS、広報等の充実並びに活用を図る。

③ 特記事項

- ・本校の理念等はコロナ禍のため直接保護者に周知はできなかったが、学生には前期後期のスタート時に担任のオリエンテーション・校長講話等で周知できている。
- ・新カリキュラムに対応した学校パンフレットを作製し、学校理解をより深める内容にした。

(2) 運営

	評 価 項 目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
5	学校運営方針は明確に定められ、教職員に明示されているか	3. 3
6	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3. 4
7	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3. 4
8	人事、給与に関する制度は整備されているか	2. 9
9	介護業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3. 3
10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3. 4
11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3. 1

① 課題

- ・年度初めに、職員に周知し共通理解を図ると共に、年度途中での検討や見直しを図る。

② 今後の改善方法

- ・定例の職員会議に限らず、随時運営方針や事業計画等の共通理解を図っていく。

③ 特記事項

- ・教育活動や学生募集に関する情報公開は、ホームページの更新やツイッターの活用で改善された。

(3) 教育活動

	評 価 項 目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
12	教育目標等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3. 4
13	教育目標、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3. 6
14	カリキュラムは体系的に編成されているか	3. 6
15	キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3. 2
16	介護分野における関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか	3. 0

17	介護分野における施設実習等が体系的に位置づけられているか	3. 4
18	授業評価の実施・評価体制はあるか	3. 0
19	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3. 2
20	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3. 2
21	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	3. 2
22	介護分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3. 0
23	介護分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2. 6
24	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2. 8

① 課題

- ・実習と授業内容のリンク、時間割の見直しを行う。
- ・教員の授業力、指導力の更なる向上を図る。

② 今後の改善方法

- ・コロナ禍の下、外部研修に代わるWeb研修等を積極的に取り入れていく。
- ・授業評価の体制づくりを充実させ、授業評価を的確に実施し、教員の資質向上に努める。

③ 特記事項

- ・教員は研究日に自己研鑽に励み、最新の情報を得たり指導力の向上に努めたりしている。

(4) 学修成果

	評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
		やや不適切・・・2	不適切・・・1
25	高い就職率が維持されているか	3. 4	
26	卒業試験、各種資格試験取得率の向上が図られているか	4. 0	
27	退学率の低減が図られているか	3. 4	
28	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2. 8	
29	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2. 8	

① 課題

- ・卒業生の実態把握と交流を行う。
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を目視化する指標を設定する。

② 今後の改善方法

- ・実態把握の体制づくりを進め、教育活動の改善及び学生募集に活用する。
- ・国家試験対策では、補習や校内模擬試験などの時期を検討し資格取得の全員合格を図る。

③ 特記事項

- ・就職ガイダンス（説明会）を地域の施設（22施設）参加の下、2回にわたって開催した。
- ・全学生対象の定期的個別面談を3回、必要に応じた個別面談も実施した。

(5) 学生支援

	評 価 項 目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
30	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3. 4
31	学生相談に関する体制は整備されているか	3. 4
32	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3. 6
33	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3. 3
34	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3. 4
35	保護者と適切に連携しているか	2. 8
36	卒業生への支援体制はあるか	2. 8
37	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3. 0
38	高校・高等専修学校との連携によるキャリア・職業教育の取組が行われているか	3. 0

① 課題

- ・就職への情報提供、支援体制は整っている。受け身の学生に対する支援体制を更に充実する。
- ・高校との連携では、今年もコロナ禍の為実施できなかったが、今後もインターンシップを実施する。

② 今後の改善方法

- ・学生の状況に応じ就職等の支援を弾力的に行う。卒業生への連絡支援体制を充実する。
- ・外部講師によるキャリアコンサルティングだけでなく、授業の一環として、就職支援の内容を強化する。
- ・就職に向け、社会人としてのビジネスマナー教育を充実する。

③ 特記事項

- ・就職率＝100%、退学率＝ゼロを今後とも目指し、きめ細かい支援を行う。

(6) 教育環境

	評 価 項 目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
39	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3. 0
40	学外研修、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	2. 8
41	防災に対する体制は整備されているか	3. 8

① 課題

- ・より良い演習を行うため、介護実習室の備品を総点検し新たに必要な物のリストを作る。
- ・遠隔授業のシステムを構築する。

② 今後の改善方法

- ・介護用ベッドや他備品について、順次最新のものを導入する。

③ 特記事項

- ・コロナ禍のため、寄居城北高校とのインターンシップ事業が今年度も中止となった。
- ・コロナ禍の中、就職相談や個別面談を繰り返し行い、きめ細かな支援の充実を図った。

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
42	学生募集活動は、適正に行われているか	3. 6
43	学生募集活動において資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3. 8
44	学納金は妥当なものとなっているか	3. 8

① 課題

- ・コロナ禍の中、介護職への関心が高まる状況が生じつつあることを踏まえ、本校の認知度を更に上げていく。
- ・地域における「かな福祉専門学校」と介護職の認知度を上げる。

② 今後の改善方法

- ・1, 2年生限定のオープンキャンパスの更なる充実。広報活動の積極的推進を図る。
- ・在校生や卒業生からも、高校生及び社会人募集に関する協力体制を構築する。

③ 特記事項

- ・オープンキャンパス参加者の入学決定率は8割以上である。
- ・令和4年度一般学生の入学者が大幅に増加した。
- ・令和5年1月神川町立神川中学校のキャリア教育に講師として参加し生徒に介護の魅力を伝えた。

(8) 財務

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
45	中長期的に学校の財務は安定しているといえるか	2. 8
46	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3. 0
47	財務について会計監査が適正に行われているか	3. 2
48	財務情報公開の体制整備は出来ているか	3. 4

① 課題

- ・本校学生への求人は数多くあるので、社会のニーズに応えられるよう本校の認知度を上げる。

② 今後の改善方法

- ・教職員誰もが、いつでも、どこでも、誰にでも学校の紹介、新入生の募集ができるよう資料を整えるとともに、在校生、関係者の協力も得ながら新入生確保に努める。

③ 特記事項

- ・特になし。

(9) 法令等の遵守

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
--	------	--------------------------------------

49	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3. 2
50	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3. 0
51	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3. 4
52	自己評価結果を公開しているか	3. 8

① 課題

- ・個人情報に関する保護対策の明文化。
- ・学校評価（自己評価・関係者評価）がより充実したものになるよう学校関係者評価委員会と更なる連携を図る。

② 今後の改善方法

- ・個人情報保護対策の明文化。書類棚・共有フォルダの整理。
- ・自己評価と学校関係者評価を関連させ、学校改善に具体的に生かす。

③ 特記事項

- ・特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
		やや不適切・・・2	不適切・・・1
53	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2. 9	
54	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3. 3	
55	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2. 7	

① 課題

- ・コロナ禍が3年を超える中、地域への貢献体制、本校の認知活動が限られたものとなっている。
- ・学生に対するボランティア活動の奨励も限定的にならざるを得なくなっている。

② 今後の改善方法

- ・感染対策を十分に行ったうえ、学校祭等での公開講座実施などを検討し、地域貢献等を強化する。
- ・学生に対する各施設や団体等からのボランティア協力依頼を積極的に受け入れ、掲示等で周知、奨励を図る。

③ 特記事項

- ・令和4年11月11日（金）の介護の日は、第1・2限目に授業、第3限目に介護福祉に関するDVDを鑑賞した。